

草の根活動 交流NEWS ⑤5300人最高の峰へ	第757号 2026年7月28日 会員数158万3382人 読者数 5091人	消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp
---	--	---

最高現勢まであと**209人**



高市政権の支持率が急落 怒り沸騰! 購読を訴えよう

通常国会が25日に閉幕しました。これほど異常な国会運営はこれまでなかったのではないのでしょうか。多くの国民が物価高に苦しんでいるというのに、物価高対策は後ろに追いやって、国民が望んでもいない国旗損壊罪や皇室典範の「改正」を強引に押し通し、維新の党利党略に基づいた「副首都」法にいたっては国会を延長してまで採決を強行しました。「数の力」で押し切る国会運営に対して高市政権の支持率は急落。当然ですよ。飲食料品の減税について「社会保障国民会議」で意見がまとまらず、最終判断を高市首相に委ねようとしています。国民は怒っています。対話を重ね、会報購読を訴えましょう!

「訴え」に応え3人を拡大

京都の会

京都の会の世話人さんが全国の会から「訴え」に応えて3人の読者を増やしました。「訴え」が届いてから「3人やな」と頭を巡らせ、「そや!」、民商の三役さんや理事さんに訴えていない人がいることに気付き、早速、購読を訴え。「年間の購読料が2千円やし、消費税のことが書いてあってこれから大事になるし…」と訴えると「あ、ええよ」と快諾。会報は、商工新聞の配達ルートにのせて届けることにしています。

パンフ注文と一緒に会報購読も

千葉・船橋市

「パンフ5部を送ってほしいですけど」と男性から全国の会に電話がかかってきました。「『しんぶん赤旗』の広告を見られたのですか」と尋ねると「そうなんです。学習会でパンフを活用しようかと思っただけ。以前は東京・大田区に住んでいたんですけど、船橋市に引っ越して…」と会話が続きしました。「会報を購読されていますか」と聞くと「今は読んでいないよと男性。」「じゃ、ぜひまた購読してください」と訴えと「もう88歳になるし…」としばらく考

えてから「いいよ。消費税の問題は大事だからね」と読者になってくれました。

見本誌を100部注文

神奈川の会

2026年パンフレットを650部注文した神奈川の会。さらに「300部を追加で送ってほしい。一緒に会報の見本誌100部をお願い」と電話がかかってきました。パンフを渡す時に会報の見本誌を一緒に渡して購読を訴えるそうです。拡大の報告、待っています!

全国の世話人さんに激励の電話かけ

事務局で手分けして全国の世話人さんへの激励の電話かけをしています。

滋賀の会のIさん。元滋賀県連の事務局長。現在は生健会や国民救援会を中心に活動しているとのことです。「10月の総会まで5300人の最高現勢を達成するため3人の読者を」とあらためて訴えると「訴えがきてたな。何とかするわ」と力強い返事が。年齢を聞くと「もう80歳や。でも山登りしているし、マラソン大会も10^{キロ}走っている」と元気な様子でした。京都の会のIさんは「民商の事務局長と相談しているけれど、なかなか読者が増えない。でも何とか頑張りたい」と話していました。